

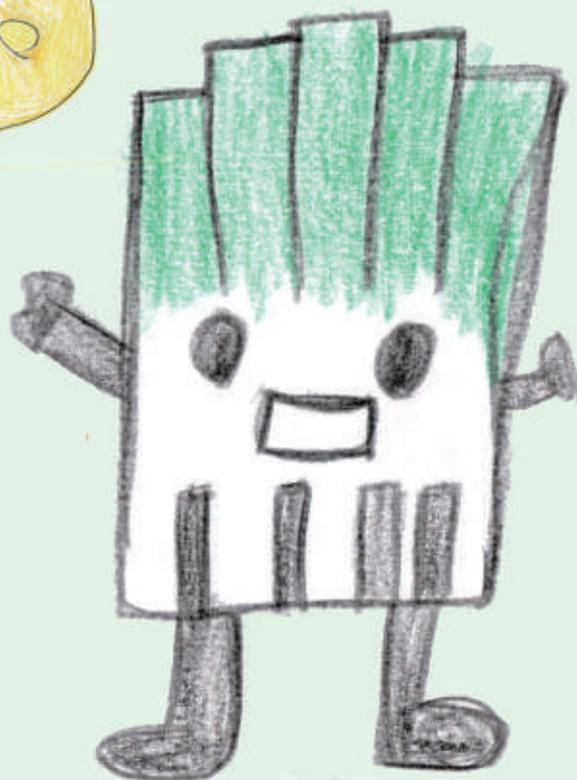
こぶし通信

Vol.54

2021.12



カレンダー作成中!



社会福祉法人こぶしの会

〒630-8424 奈良市古市町529-4

電話 0742-63-6765 FAX 0742-63-6766

e-mail/kokkara@kokkara.jp http://kokkara.jp/

発行責任者/坂下 伸一

Column

仲間理解と支援の充実を

社会福祉法人こぶしの会 理事長 坂下伸一

これまで、これからも、障害者福祉施設の職員にとって、仲間の理解や支援上の苦労や困難は尽きることがありません。

「仲間同士の関係がうまく行かない時がある。どうしてあげたらいいだろうか」

「どうして同じことばかり繰り返すのだろうか。その度やさしく話しているのだが」

など……。

こぶしの会は、新しい職員も増えてきています。これまで培ってきたこぶしの会の理念や仲間支援のあり方が、上手く伝わっていない面もあります。職員間のコミュニケーションを広げ、職員を育てていくことを重視しなければならない時期にきています。

そこで、今、こぶしの会は、研修はもちろんのこと、職員が仲間のことを理解したり、支援のあり方を考え合ったりするための職員同士の話し合い、「ケース会議」や「事例検討会」と言われるものを大切にしていこうとしています。

◆仲間をいとおしく思うことから

「ケース会議」で話し合ったからといって、解決できないことも多いですが、仲間一人ひとりのことをじっくり話し合う事で、それまでは見えていなかった仲間の優しさや楽しそうな姿が見え、仲間がいとおしくなり、ほんわかとした気持ちになることがあります。このことが、仲間の理解や支援の基礎になっているように思えてなりません。難しい話し合いではなく、仲間の姿を出し合いながら、仲間をいとおしく思い、ほんわかとした気持ちになることから、仲間の理解や支援が始まるように思います。

◆共感的自己肯定感を育む

仲間たち自身の思いや悩みも、たくさん話されます。

「どうせみんなから好かれていない。毎日の生活が面白くない」

「自分の顔や姿が好きになれない。何とかしたい」

「してはいけないと思っているのだが、がまんできない」

など……。

仲間たちは、総じて「自分自身を受け入れ、自分の価値を認める感覚・自己肯定感」が育っていないように感じます。ただし、周りの人に打ち勝って、他人より自分が素晴らしいと満足する「競争的自己肯定感」ではなく、自分の弱いところや失敗し

たことも受け入れ、自己のかけがえのなさに基づく「共感的自己肯定感」を育てていくことが大事にされなければなりません。仲間に「共感的自己肯定感」が育つように支援していくことが、何よりも求められているといえます。

◆家族の願いや思いを聞き取る

仲間のことを理解し支援するためには、仲間の育ちや家庭での様子を知ることが大切になるということもよく話題になります。家族が仲間をどのように育て、どのような様子であったか。また、家ではどのように過ごしているのかなど、仲間の育ちや今をしっかりと聞き取ることが、仲間の理解や支援の手掛かりになることが少なくありません。

このように家族から話を聞くことは、単なる手掛かりに止まらず、家族の苦労や仲間への思いや願い、期待などを聞くことに繋がり、職員の中に家族への共感がうまれることになりま。そして、そのことは、障害のある人に関わる職員にとって、支援への力に繋がっていきます。

◆制度改正も～多くの人と手をつないで～

話し合いの中で、どうにもできないことがあることも分かります。

「もう一人職員がいたら、仲間の支援が充実するのに」

「仲間が落ち着いて、ゆったり過ごせるような部屋があれば」など……。

日本の障害者福祉制度の貧困さや課題が大きな壁になっています。これらのことは、こぶしの会とその職員の努力だけではどうにもならないことです。この通信を読んでくださっている後援会員のみなさんはもちろん、多くの人と手をつなぎながら、制度の改善や充実を求めていかななくてはならないです。

◆こぶしの会20周年記念事業へ

さて、こぶしの会は、今年で設立20年を迎えています。コロナ禍の中で、記念事業については、時期を遅らせて取り組むことにしています。新型コロナ感染症が収束することを願いながら、来年度中には、こぶしの会の未来につながるような記念行事や冊子づくりを行う予定です。そしてそれは、仲間の理解や支援と切り離して進むものではありません。これからも、こぶしの会として一層充実させていきたいと考えています。

(2021年12月記)

すまいるな1周年記念パーティー

すまいるが歩み始め1年と少しが経ちました。コロナウイルスも落ち着いてきたので今日はすまいる1周年記念パーティーです。すまいるにとっては初めて行う記念すべきイベントとして、個室の広間で夕食をしてわいわいがやがやしようという算段です。会場として白羽の矢が立ったのは和食さと。事前に仲間1人1人にメニューを決めてもらい、いざ出発。ほぼ定刻に到着してよいよ始まりです。

到着するとメニューを伝えていたこともあり、矢継ぎ早に料理が並べられてあっという間に食べられる状態に。そして開会の挨拶をして、クラッカーと乾杯でお祝い。料理が早く来たり、クラッカーの準備等にもたついたりして1人鍋のお肉は炊かれすぎたり、赤尾のざる蕎麦はゴムゴムになりましたが(笑)冗談を言いながら美味しくゆっくり頂きました。食事も一段落すると、皆さんに1年振り返っての感想を頂戴したり、黒ひげ危機一髪的なゲームで盛り上がりました。「しんどかった」と言った意見もありましたがそれも本音。「これからもすまいる頑張ります」と言ってもらえたりして、とても嬉しい時間でした。

近くて遠いすまいるの女性、男性陣が初めて1つになってのイベント。仲間の心に刻まれて欲しいなど。まだまだ頑張っただけ泊まりにきているという方が多いけれど、時間は掛かるけれど自分の家だと思える日がきますように。そしてこの日ある事情で来れなかった仲間。パーティーの間、一緒に来ている思いでずっといました。以上現場からすまいるな報告でした。

(文責:赤尾信也)



そうだんしつ窓から

こぶしの会相談支援センター 小針 康子

「障害者家族の老いる権利」

～高齢家族との面談から見えてくるもの～②

今、障害児教育を学ぶ学生さんの卒論研究にお付き合いしています。テーマはグループホーム実践から障害者、家族の自立を考える…といったものでしょうか。こぶしの会グループホームで暮らす仲間、その家族、そこで働く職員へのインタビューが進んでいます。

取材の最後に「あなたにとってグループホームとは？」をズバリ学生さんがきくののですが、うーん、と考えてご家族は珠玉の言葉をひねり出して下さいます。その中で「子どもの自立、親の自立…かな。」と答えたおかあさんがおられました。障害を告げられた時のこと、病弱で何度も覚悟を決めたこと…たくましく命を繋いで、今、家族から離れていくわが子。その一步を見届けてようやく、「自分の人生はどんなだったろう」を考え始められた、と言われます。自分のことはいつも後回し、障害のある子どものこと

が最優先の思考回路になっていたことに改めて気づいた、とも。故郷を出て、就職し、結婚し、一人の女性として、一人の人間として…「〇〇くんのおかあさん」と冠のついた自分とは別に、振り返る時間ができたということでしょうか。といってもまだまだ心配なことはあるし、寂しさも半端ない。でも自分とは違う他人に「ゆだねる」ことで、ここは親も自立しなきゃ、と笑っておられました。これからは自身の老い、自身の将来の生活に向き合っていくことでしょうか。グループホームは障害者家族の老いる権利を保障する社会資源でもあるのです。相談支援の役割も広がっていきます。

移動支援や行動援護、放課後デイなどの制度もなく、障害医療の間口も狭かった時代、家族こそがケアの大半を占める、そんな濃厚な親子関係の中にあった仲間たち。今、「ゆだねられた」私たち支援者に求められることは何か、大切にすすめるべきは何か、また次回以降考えていきたいと思えます。

奈良育英中学・高校のみなさんと一緒に…

こっから NEWS

かみすき班

育休復帰前の3月、友人に「4月から紙すき班なんだー」と話したところ、「一緒に何かしようよ!」と始まったのが、七夕の短冊を紙すき班の作る和紙で作ってほしいという依頼でした。

七夕の短冊には学生さんの合格祈願も兼ねているそうで、いっそう思いこめて、丁寧に作りました。

あわせて、中学生の皆さんの課題で使う葉書もご注文いただきました。

みなさんの素敵なスタンプでできた、暑中見舞いの葉書が届きました。(文責:川野美幸)



グループホームをきれいに!

ここすた NEWS

今年度より、すたあとでは新たな取り組みとして3か所のグループホームの草刈りとぐうぐうハウスの剪定に挑戦しました。

丁寧に草を抜いたり、剪定ばさみやのこぎりを使って木を切ったり。

地域の方から、「暑いのによくがんばってるなあ」「きれいになって、スッキリしたなあ」と声をかけてくださることも。ある時は、生垣に作られたスズメバチの巣を仲間を見つけ、業者に駆除を頼むなどの活躍もありました。剪定では地域の方が「ちゃんとした道具を使った方がきれいになる」と電動の剪定ばさみをお貸しくださったり、掃ききれなかった落ち葉をきれいに片づけてくださったりと仲間のがんばりを支えてくださいました。そんな様子を、ぐうぐうハウスでくらす「ここに」の仲間が「ここに市」の日にホワイトボードに「暑い時もみんな来てくれて住みやすくしてくれました」と紹介し、仲間への感謝の言葉をつづってくれたことも、とてもうれしいことでした。(文責:島 耕治)



Before



After

Before



After



なかま自治会

コロナウイルスの感染が拡大した昨年より、こっからでも様々な活動が制限されています。自治会活動においても同様で、今までのように活動ができない状態が続いています。そんな中でも「自治会はいつするの?」と、なかま自治会での話し合いを楽しみにしている仲間たち。こっから全体での活動は中止が続き、時間に余裕があるこんな時こそ!と、今年度第1回目のなかま自治会は、“お互いを知ろう”というテーマで、改めてメンバー1人ずつ自己紹介をしました。「好きな芸能人」「得意なこと」「休日の過ごし方」「こっからでしている仕事」「見ているテレビ番組」「楽しみにしている近日の予定」「家族の話」など、みんなに伝え

たいこと、知ってもらいたいことが仲間によって異なり、それぞれの味がでたおもしろい自己紹介になりました。長年一緒に過ごしてきた仲間たちですが、意外と初耳の話もあり、それぞれに新しい発見ができた時間となりました。班別旅行が終わると、仲間たちの気持ちは早くもクリスマスへ!「クリスマス会のこといつ話す?」「プレゼントどうする?」と、期待に満ち溢れた目で話す仲間たち。クリスマス会についての話し合いは、やはり自治会活動の中でもメインの活動であるようです。

(文責: 福本惟衣)



きょうされんオンライン全国大会

きょうされん NEWS



10月29日、きょうされんでは初めてのオンライン全国大会が開催されました。全国で1万人を超える参加者があり、オンラインならではのスケールの大きな大会となりました。

全国50か所の拠点を生中継で結び、八丈島や宮古島などの離島も含め北海道から沖縄まで、リレーメッセージが展開されました。ご当地グルメや観光スポット、地域の祭り、どんな仕事をしているかなど次々と興味深いエピソードが語られ、「ぜひ遊びに来てください」というメッセージを聞くにつれ、「みんな早く会える日を楽しみにしているのだなあ」と思いました。

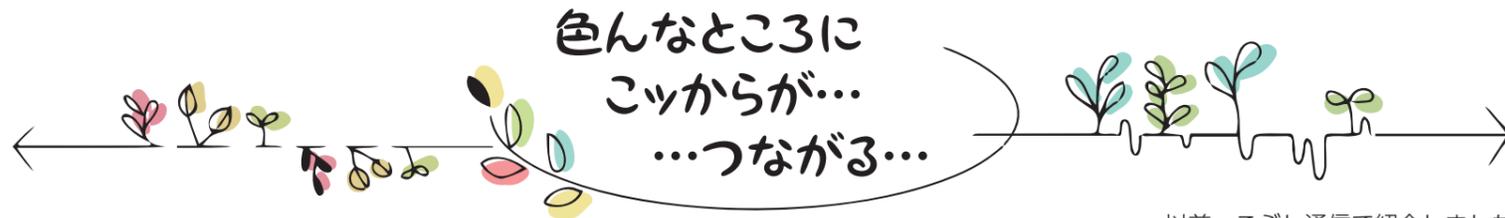
当日は、「こっから」と「すたあと」でスクリーンに画面を映し、仲間が視聴参加しました。

仲間からは「らいねんは岩手県(での全国大会)なので、しんさいじ(震災時)のしゃしんと今のしゃしんをみて、町がだんだんできているのがみれて、かんどうしました」と来年の全国大会に思いをはせる感想が出されました。

大会最後には、東京会場の中継現場がうつされ、たくさんのパソコン、配線、カメラの量に驚きました。



*きょうされんの賛助会費は、TOMOをお配りするだけでなく、このような全国をつなぎ仲間が参加できる様々な活動に使われています。ぜひお近くの方にも「賛助会員になって運動にご協力を」とお誘いください。



ヘックス ハイブ
HEX HIVE



call(ミナペルホネン)

3年前からこっからのお豆腐を卸している東京のお店、「call」さん。そのcallさんの5周年の節目企画の一つとして、こっからの記事をInstagramに掲載していただきました。

また、この秋には雑誌「FRaU」で、callのスタッフさんからのおすすめ商品として、こっからのお豆腐を紹介していただきました。



いいね! : 他
call.jp #callcreationall
こっから | 手づくり豆腐
奈良県奈良市の福祉施設にある「こっから」。
障害をもった方たちが働く場所です。
(普段、彼らは「仲間」と呼ばれています)
すべてのものが「こっから」生まれ育っていく。そんな
思いが施設の名称に込められています。

こっからの方々に、ものづくりへの思いを伝えていただき
ました。
「仲間たちが何か特別なものを介して人とつながる、も
のづくりはその大切な手段であると考えています。
自分たちの商品に自信を持ち、日々丁寧に製造業務に向
き合う仲間たち。
こっからのお豆腐を待っていて、美味しいと言っ
てくれるお客様の存在が、仲間たちにとって大きな原動
力となっています。

今後、callやcallに来てくださるお客様とどんな関係を築
いていけるのか、つながりがどんな風に広がっていくの
か、まだまだこれからという長い目でみることができたら
、と思っています。
楽しい仲間たちをもっと多くの皆さまに知ってもらえたら
幸いです。」

“ものを介してたくさんの人とつながる”
その場がcallであることに感謝し、これからもcallの役割
を考え続けていきます。

#mp_call #minaperhonen #minaperhonen
#こっから

画像:call.jp Instagramより引用

以前、こがし通信で紹介しました「HEX HIVE (ヘックスハイブ)」さんのInstagramでこっからのゆだね食パンが紹介されました。

ありがたいことに、店長さんから「食パンは、とても人気ですぐに売り切れてしまう」と言って頂き、徐々に納品数が増えてきています。
お近くにお寄りの際は、ぜひ、こっからの食パンとその他の商品も見てください。

hexhive.nara.jp
こんにちは😊
とっても人気のあるこっからさんの食パン🍞
ふわふわもちもちで1枚ペロッと食べてしまいます。
まずはそのまま何も付けず食べてみて下さい😊
お惣菜出来上がっています🍴
ご来店お待ちしております。



FRaU

こっからのおとうふが「FRaU」という雑誌に掲載されました。

「胸熱! おいしい買い物カタログ」という人や地球環境、社会に配慮したフードの特集記事で、「全国各地のSDGsなフードアイテム」のひとつとしてお世話になっているcallのマーケットスタッフ吉田様からのご紹介で取り上げていただきました。

早速その記事を見たという高知の障害者事業所さんから問い合わせがあるなど反響もいただいています。



わたしたちらしく 福祉 × 福祉連携 をめざして! ～高齢者福祉と障害者福祉とのきょうどうの取り組みと未来～

今年度から、こっからの仲間が作るパウンドケーキを、社会福祉法人協同福祉会「あすならハイツ恋の窪」さんのデイサービスとショートステイを利用されているご高齢の方々のおやつとして扱っていただくことになりました。コロナ禍の中、できることから少しずつ始めていますが、これから「障害」と「高齢」の枠を超えた地域づくりの連携がどんどん広がっていくことを願っています。

協同福祉会の栄養士さんからのメッセージです。

「今年の7月から、コミュニティワークこっからさんの作られたケーキやクッキーなどを利用者の方への3時のおやつとして提供させていただいています。こっからさんも大きさや糖分、硬さなど高齢者にあったおやつを研究して下さり提供していただいています、おやつを通じて、仲間の皆さんとのかかわりや交流を深めていければと考えています。」





**とうふ工房、
日帰り旅行
in 信貴山**

今年のとうふ班日帰り旅行のメインテーマは、食べる、そして、お土産を買う。

せめて食事は豪華なものにと選び、多数決の結果信貴山観光ホテルでの、豪華な会席料理になりました。内容は、なんと…カニ！ あわび！ ステーキ！

周辺の散策や紅葉狩りは、雨でほとんどできませんでしたが、お腹いっぱい食べて、お土産も買えて、満足…かな!?



**活動班、
日帰り旅行
in かに道楽**

檀原神宮でお参りをし、みんな揃って集合写真を撮りました。

しっかり歩いておなかを空かせたら、いよいよ待ちに待ったカニコース…！

大きな口でぱくりとカニを頬張り次々お皿が空になっていきます。

おなかも満たされ幸せな時間でしたね。



旅行に行ってきました!

Topix

**かみすき班、
日帰り旅行
in 山田牧場**

美味しいものが
食べたい!

どこかに行きたい!

動物がみたい!

紙すき班は滋賀県信楽の山田牧場に行ってきました。



**パン工房、
日帰り旅行
in ミシガンクルーズ**



パン工房の旅行は滋賀県。明治38年からの伝統を受け継ぐ空間と日本庭園を眺めながら鰻を頂きました。仲間たちは普段滅多にないシチュエーションに戸惑いながらも舌鼓。琵琶湖ミシガンクルーズは大雨が降る中での出航です。湖面は見渡す限り霧でまるで雲の中を進んでいるかの様でした。雨にも負けじと自分たちで楽しみを追及する姿は頼もしいものでありました。

パートさん交流会を開催して



パートスタッフさんとの交流会を10月10日に行いました。今現在、ひまわり、ぐうぐう、すまいるに泊まりを初め、朝、夕の時間帯に携わってくれているパートさんが15名以上居て下さっています。その中で当日は10名参加して頂きました。

このようなイベントは初めての試みでしたのでまずはお互いの自己紹介とホームでのハプニングや、楽しかったことなどのお題目を添えて。年齢層も様々で前職も多種多様。初めて知ることばかりで目から鱗の連続です。大学の授業の合間に入って下さる学生さん、介護職でバリバリ仕事をしながら、決まった曜日に入って下さる方、古くからこぶしの会と繋がりがあり、長きに渡って支えて下さっている方、オペレーターの前歴のある方まで…。もっとその方々の歴史を聴きたいと思うような魅力的な方ばかりです。お題目のエピソードも色々な視点があって仲間のこんなところを注目しているんだとか、そこは気付かなかったとか学びが沢山ありました。そして一番印象的だったのが話している時の皆様の目がとても澄んでいたこと。とてもまっすぐに話されている雰囲気がとても心地よかったです。そのあとは古木さん

に「こぶしの会の理念」について話して頂き、最後はグループワークです。仲間のこと、普段ホームでの過ごし方、色々な角度から沢山の思いを皆様出して下さりました。

生活支援の難しさややりがい、またパートさんだから感じるであろう常勤スタッフとの立ち位置、バランス感覚みたいところは分かってはいましたが、とても気を払われて業務に当たって頂いているなど個人的に感じました。また法人の全体研修にも参加したいと言ってくれるパートさんもありました。「交流できて良かったな」で終わらず今後15名以上のパートさんと連携をどう図っていくか考えていければと思います。グループホームが増えるにつれパートさんの力が益々大きくなります。ありがたいことに近くに住んでいるパートさんが多くなってきて、またパートさんが新しいパートさんを紹介してくれるという良い循環が生まれてきているようにも感じています。「地域と連携していく」ということを具体化していくこと。仲間と繋がり、近居のパートさんと繋がる。そしてホームの思い出を共有していく。その積み重ねで夢のようなことが少しずつ起こりうるのではないかと考える今日この頃です。

今年の後援会のお礼は メイドインこっからのアイテムです！

後援会 NEWS

「こぶし後援会」に新規加入して下さった、又は更新して下さった皆様へのお礼の粗品が今年度から変わりました。活動班の仲間が作る「くるみボタン（マグネット）」です。

ボタンをハギレでくるんで作る世界に1つ？のオリジナルグッズです。
是非みなさんの日々の暮らしの中でご活用いただけたら嬉しいです！



貸借対照表 2021年3月31日現在

単位:千円

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	140,839	流動負債	9,936
現金預金	97,730	その他の未払金	316
未収金	41,305	未払費用	2,050
貯蔵品・原材料	1,308	1年以内返済借入金	2,250
他流動資産	497	他流動負債	1,047
固定資産	402,733	賞与引当金	4,272
基本財産	360,174	固定負債	164,750
土地	130,075	設備資金借入金	164,750
建物及び附属設備	224,631		
その他固定資産	42,559		
建物及び附属設備	5,413	負債の部合計	174,686
構築物	18,302		
機械及び装置	500		
車両運搬具	358		
器具及び備品	4,370		
無形固定資産	716		
工賃変動積立資産	500		
設備等整備積立資産	1,000		
修繕費積立資産	9,000		
その他積立資産	2,000		
差入保証金	400		
資産の部合計	543,572	負債及び純資産の部合計	543,572

2020年度 社会福祉法人こぶしの会 決算公告

資金収支計算書

自:2020年4月1日 至:2021年3月31日 単位:千円

	予 算	決 算	差 異
【事業活動による収支】			
就労支援事業収入	24,500	15,263	9,237
自立支援給付費収入	199,360	198,023	1,337
利用者負担金収入	15,990	13,818	2,172
補給給付費収入	1,900	1,800	100
その他の事業収入	50	5	45
借入金利息補助金収入	120	73	47
経常経費寄附金収入	1,000	655	345
受取利息配当金収入	1	2	-1
その他の収入	2,510	2,818	-308
事業活動収入計	245,431	232,457	12,973
人件費支出	168,939	144,335	24,604
事業費支出	24,345	23,886	459
事務費支出	20,292	17,946	2,346
就労支援事業支出	24,500	16,877	7,623
支払利息支出	450	334	116
その他の支出	0	5	-5
事業活動支出計	238,526	203,383	35,143
事業活動資金収支差額	6,905	29,074	-22,169
【施設整備等による収支】			
施設設備等補助金収入	3,150	3,160	-10
施設整備等寄附金収入		257	-257
設備資金借入金収入	103,000	103,000	0
固定資産売却収入	15,000	15,000	0
施設整備等収入計	121,150	121,417	-267
設備資金借入金元金償還支出	2,250	2,250	0
固定資産取得支出	150,180	149,915	265
施設整備等支出計	152,430	152,165	265
施設整備等資金収支差額	-31,280	-30,748	-532
【その他の活動による収支】			
その他の活動収入計(7)	0	0	0
その他の活動支出計(8)	3,000	3,000	0
その他の活動資金収支差額	-3,000	-3,000	0
当期資金収支差額合計	-27,376	-4,675	-22,701
前期末支払資金残高	140,960	140,960	0
当期末支払資金残高	113,584	136,285	-22,701

新しい製造着で、気持ちも新たに出発!!

10数年の間、ずっとみんなが着てきた工場の製造着。

豆乳や洗い物の水が付き、水が冷たく手がじかむ冷たい冬も、汗が噴き出る夏も、仲間が一生懸命にそれぞれの仕事に向き合ってきた成果を表すかのように随分と年季が入ってきました。帽子や裾、襟にはほころびが目立ち、予備もわずかとなりました。

この度これを機に製造着を新しくすることにしました。

帽子は佳美さんのお母さんのご厚意に甘え、沢山作っていただきました。ありがとうございました。

新しい製造着を身にまとい、とうふ工房はこれからも仲間、職員共に皆で頑張って、食べて喜んでもらえる美味しいとうふを作っていきたいと思えます。

(文責:奥田昌子)



♡ひまわりの今

昨年7月末より旧ひまわりの解体工事が始まりました。あっという間に建物は撤去され、重機によって取り壊されていく建物や何もなくなった更地を見るとなんとも言えない寂しい気持ちになりました。10月には地鎮祭も執り行われ、新しい住まいへと少しずつですが着実に進んでいるところです。天理での仮暮らしもあっという間に半年になりました。あと少しの仮暮らし生活ですがこれはこれでみなさん楽しく過ごされています。



7月29日
解体工事が半分くらい
終わりました。



10月4日 すっかり何もなくなりきれいに整地されました。



12月16日 建物がほとんどでき上がっていました。

表・紙・解・説

「ここに」10周年を記念してカレンダーを作成し、ここに市にご来店のお客様にお渡しする準備をしています。仲間が描いた絵の一部を今号のこぶし通信でご紹介します。

絵に込めた思い

「冬野菜の絵を描きました。すき焼きにいれるネギが好きでイメージしました。」

「いろんな野菜を描くことでここに市をイメージできるかなと思ったからです。」

「季節の花の絵と行事の絵を描くのが好きなので、絵をいろいろ描いていると楽しくなりました。」

「花火がきれいなので描きました。」



国会請願 署名・募金に ご協力 ください

こぶしの会では、毎年「きょうされん」の国会請願署名と募金に取り組んでいます。

前回では、こぶしの会で署名4,181筆、募金176,796円のご協力を得ました。

コロナ下での取り組みでしたが、前年を大きく上回る数で、奈良選出の国会議員に届けました。紹介議員になってくださったのは、奥野信亮議員(衆・自民)、馬淵澄夫議員(衆・立憲)の二人でした。

今次の請願項目は、コロナ禍により仕事が減った仲間への工賃の補填を国が責任をもって実施するように求める項目、65歳を過ぎても必要な支援を自ら選んで費用負担なく利用できるような項目、グループホームなどの制度拡充などを盛り込んでいます。こぶしの会の仲間にとっても、大変重要な署名活動です。仲間の権利を保障する、障害のある人のねがいを実現するためにも、多くの方のご協力をお願いいたします。

編集後記

久しぶりに、こっからの事務所に詰めて事務作業なんかを行っていた時のことです。何度もかかってくる電話に対応していたうちのひとつに大阪の方からのお問い合わせの連絡がありました。

コロナウィルスの感染が収まり始め、久しぶりに奈良観光に訪れた際に立ち寄ったお店で、たまたまこっからの食パンが目についたそうです。柿でも買って帰ろうと思ったらパンが美味しそうだったので、で帰って食べてみたら本当においしかったと、うちの近所にはこんなおいしい食パンは売っていないので奈良県以外でも買えないのかと、そういう嬉しいお電話でした。また先日はパンを使っている飲食のお店のお客様から、そのお店で食べたパンが非常に美味しかったので是非買い求めたいというメールが届きました。

どちらも世の中に数えきれないほどもあるものの中から見つけ

てください、また食べたいとご連絡を下さったのでした。コロナ禍での日々は、見えない恐怖との闘いであり、こぶしの会が何よりも大切にしてきた人と人との出会いやつながりから遠ざかる毎日でした。お客様との直接の交流が出来なくなり、配達や対面販売から卸販売で扱っていただけのお店を上げたりもしてきましたが、この2つの出来事は、障害や福祉とは直接関係ないところからでも、商品を通して私たちとつながってくれる人たちがいることを教えてくれます。

今回の通信では、それぞれの施設で活動制限のあるなかでも様々な人たちとつながっていく取り組みがたくさん報告されています。新しい出会いを大切に育て、これまでのつながりをより深めていきたいと思えます。今年もたくさんのご支援本当にありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。(古木一夫)

こちらも
ご覧ください

<http://kokkara.jp/> ・ネットショップ ・活動ブログ
・ニュースブログもお楽しみ下さい。



こっから facebook